

発達障害 Q & A

よく寄せられるご質問から

Q3 「二次障害」という言葉をよく聞くのですが、大人になると出てくるものでしょうか？ 子どものうちは大丈夫ですか？ 現在3歳の男児です。

A3 二次障害は、子どものうちからも現れます。発達障害による認知の障害や適応のしにくさのために、二次的にいろいろな問題が現れることを二次障害といえます。

小さいお子さんに多いのは自己評価の低下で、劣等感や不安の強さ、自信のなさにつながります。環境を特性に合わせて整えてあげること、お子さんの得意な面を利用して学びやすくすることが大切です。

また、お子さん自身が自己評価を高め、自信や挑戦する意欲につながるよう日常生活の中で丁寧に関わることも大切です。

例えば、この年頃のお子さんは、お散歩の時に道路のはじの縁石の上を歩きたがります。その時に「危ないからやめなさい」では、自信や挑戦につながりません。手をちよつと持つてあげて安全に配慮し、「上手、上手」「まっすぐ歩けたね」というように完璧でなくてもうんと褒めてあげると、身体のバランスをとる力が身についていきます。お子さんの様子をよくみて、自己肯定感が育つ関わりをしてあげてください。

幼児期の育ちがその後につながることを意識しながら、二次障害についても十分に理解しておく必要があります。

回答者

世田谷区発達障害相談・療育センター 診療所長

山崎晃資(医師)

世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

開所日時

月～土曜日（祝日及び年末年始を除く）
午前9時～午後6時

利用方法

利用は予約制です。利用を希望される方は、世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」へお電話にてお申し込みください。

所在地・連絡先

〒157-0074 世田谷区大蔵 2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター 2・3 階
TEL 03-5727-2235（代表）
03-5727-2236（相談専用）
FAX 03-5727-2238
URL <http://www.ryo-iku.jp>

業務受託：社会福祉法人 嬉泉

〒156-0055 世田谷区船橋 1-30-9
TEL 03-3426-2323 FAX 03-3706-7242
URL <http://www.kisenfukushi.com>

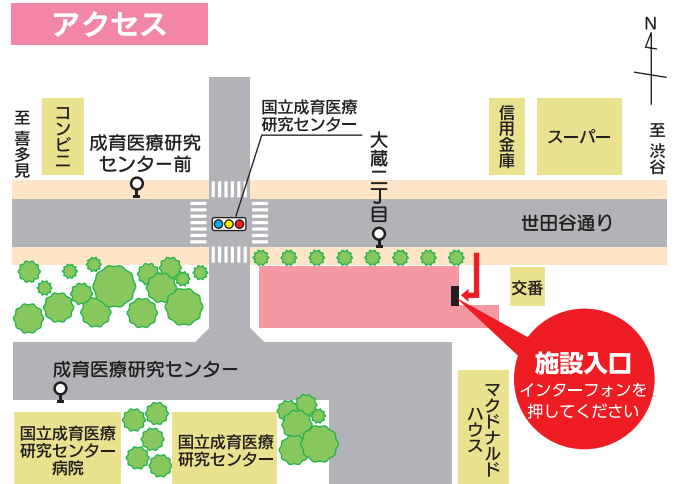
編集後記

本田秀夫先生の講演会には週末の夜の開催にもかかわらず多くの方々にご参加いただきました。

本田秀夫先生の20年以上にわたる臨床のご経験から、幼児期から成人期までのライフステージを通じた具体的なお話をいただき、ご参加の方より「理解しやすかった」「勉強になった」というご感想を多くいただきました。

「げんき」利用者のお大半は幼児・学童ですが、地域での自立のために将来を見据えた関わりのお大切さをあらためて考える貴重な機会となりました。

アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

東急バス・小田急バス

〔波24〕 成城学園前駅 ↔ 渋谷駅

東急バス

〔都立01〕 成城学園前駅 ↔ 都立大学駅北口
〔等12〕 成城学園前駅 ↔ 等々力操車所
〔用06〕 成城学園前駅 ↔ 用賀駅

小田急バス

〔渋26〕 調布駅南口 ↔ 渋谷駅

東急コーチ

〔玉31・32〕 二子玉川駅 ↔ 成育医療研究センター

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究センター前」で下車。東急コーチ、成城学園前駅行き、調布駅南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。

※専用駐車場はありません。